

西国巡礼慈悲の道

西国第十番 明星山 三室戸寺

一心称名

山主 伊丹光恭



嫁いびりで、近隣に聞こ

えた老婆がいました。さす

がに老婆も、それが気にな

るとみえて、どうすれば腹

をたてずに暮らせることが

できるか、西山穆山禪師を

訪ねて教えを乞うたとい

ことです。禪師は

おんにこに はらたつま

いぞや そわか

と、ただニコニコして朝

晩、真言を唱えるようにと

さとした。以来、笑顔がも

どり、嫁いびりもすっかり

止んでよい姑になったとい

うことです。

観音經に

善男子 若有無量 百千

万億衆生 受諸苦惱 聞

是觀世音菩薩 一心称名

觀世音菩薩 即時觀其音

声 皆得解脫

とあります。

一心に南無觀世音菩薩と

称えたならば、苦しみから

解き放つてくださるという

のです。つまり、南無觀世

音菩薩と称名できることが

できれば、それこそがご利

益なのです。自分が気に入

らないことがあれば、すぐ

に切れてしまい、ひどい言

葉や、暴力を振う人が多い

作今ですが、そういった

時、南無觀世音菩薩と称名

できれば、きっと心が落ち

着き、ニコニコと笑顔を取

り戻すことができるのでは

ないでしょうか。それこそ

がご利益です。

二十数年前、三井物産マ

ニラ支店長若王子氏が、身

代金目当てに誘拐され、百

日を越える監禁から開放さ

れた事件がありました。氏

は、毎日、倉庫の片隅に觀

音様がいらつしやると想像

し、祈っていたそうです。

西山禪師や若王子氏のよ

うに、觀音様が自分を守つ

てくださっていると信じ、
ことある時には、静かに称
名していただきたいもので
す。



西国第十番

みむろとじ
明星山 三室戸寺

本山修験宗

御本尊／千手観世音菩薩 開基／行表禅師

よもすから ^{つき}月をみむろと わけゆけば
^{うじ}宇治の川瀬に ^た立つは ^{しらなみ}白波



✳️ 主な年中行事 ✳️

4月中旬 つつじ、シャクナゲ園の開園

6月1日 アジサイ園の開園

7月上旬 ハス酒を楽しむ会

(ハスの葉に酒を注ぎ、茎から飲む行事で、健康・長寿に効ありと伝えられている。)

8月9日 千日参り (施餓鬼)

毎月17日 宝物館開扉 (重要文化財仏像五体)

11月土・日曜・祝日

観音様の足の裏を拝する会

観音風光

四、五月のつつじ、シャクナゲ、六月のアジサイ、七月のハス、九、十月のハギ、シュウメイキク、秋の紅葉と四季折々、花を楽しめるお寺です。

西行も

暮れはつる 秋のかたみにしばし見ん
紅葉散らすな御室戸の山

と歌にしたほどの所でした。近年数百本のモミジを植栽し、モミジの名所復興に励んでいます。

ご詠歌の意味

夜どおし、月を見ようと、分けいくと、宇治川の川瀬に白波が立っていたと、宇治川の自然を詠んだ歌で、王朝風の世界を感じさせる古様の歌です。

月を見る 三室戸は懸詞となっています。

〒611-0013 京都府宇治市菟道滋賀谷21

TEL 0774-21-2067 <http://www.mimurotoji.com/>

納経時間 4月～10月／午前8時30分～午後4時 11月～3月／午前8時30分～午後3時30分

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。